

イベント実施結果

九州バイオリサーチネット

今後の九州農業を支える農作物品種の開発シンポジウム（10月2日開催、福岡県福岡市）
(<http://www.k-baiteku.sakura.ne.jp/ivent/ivent.htm>)

実施結果

農業の競争力強化・農作物の安定供給等の課題解決の一つとして、最近の農作物品種においては、高品質な、生産環境に適した様々な品種が開発されており、これらの農作物品種を使用した産地・経営改善が期待されております。このようなことから、農業生産現場に適した農作物品種の導入により産地・経営改善等の一助とするため「今後の九州農業を支える農作物品種の開発シンポジウム」を九州大学西新プラザ（福岡市）において開催しました。

演題及び講師

別添参照

開催期日：平成30年10月2日13:00～17:00

主催：九州バイオリサーチネット

協力：農林水産物の輸出促進研究開発プラットフォーム@九州・沖縄

当日は、農研機構、公設試、民間企業等から53名の参加がありました。

各講師から、稲、麦、大豆、ソバ及びいちごの新しい品種等について講演頂きました。また、パネルディスカッションでは、良い品質の品種が来ているが生産現場に普及させる方法やその課題、お菓子用の品種を育成すべき、現場ニーズの把握方法等についての意見交換が行われました。



シンポジウム会場の様子

【別添】

演題及び講師

①演題:業務用、加工用等の多収米品種の紹介

講師:農研機構 九州沖縄農業研究センター 水田作研究領域 稲育種グループ グループ長 竹内 善信 氏

②演題:めん用・パン用小麦品種の開発の現状と課題

講師:農研機構 九州沖縄農業研究センター 水田作研究領域 小麦・大麦育種グループ グループ長 中村 和弘 氏

③演題:ラーメン用小麦「ラー麦」の生い立ちから見る品種育成の肝

講師:福岡県農業生産資材協会 事務局次長 古庄 雅彦 氏

④演題:九州沖縄農業研究センターにおける大麦品種開発の現状と今後の課題

講師:農研機構 九州沖縄農業研究センター 水田作研究領域 小麦・大麦育種グループ 主任研究員 平 将人 氏

⑤演題:九州向け大豆新品種の開発について

講師:農研機構 九州沖縄農業研究センター 作物開発利用研究領域 大豆・資源作物育種グループ 上級研究員 高橋 将一 氏

⑥演題:九州沖縄農業研究センターでのソバ品種開発の現状と方向性

講師:農研機構 九州沖縄農業研究センター 作物開発利用研究領域 大豆・資源作物育種グループ グループ長 鈴木 達郎 氏

⑦演題:栽培イチゴの重要形質に関するゲノム解析の現状と展望

講師:福岡県農林業総合試験場 生産環境部 バイオテクノロジーチーム チーム長 和田 卓也 氏

パネルディスカッション

コーディネーター:田谷 省三(農林水産省産学連携支援コーディネーター)

パネラー:九州沖縄農業研究センター 竹内 善信 氏、九州沖縄農業研究センター 中村 和弘 氏

福岡県農業生産資材協会 古庄 雅彦 氏、九州沖縄農業研究センター 平 将人 氏

九州沖縄農業研究センター 高橋 将一 氏、九州沖縄農業研究センター 鈴木 達郎 氏

福岡県農林業総合試験場 和田 卓也 氏